

《長崎新聞 平成23年10月24日朝刊より転載》

【質問】8月に有名なサッカー選手が練習中に心筋梗塞で倒れ亡くなりましたが、AEDがあれば救命できたかもしれないといわれています。いざというときのために、AEDを使えるようになりたいのですが、どうしたらよいですか。(45歳・自営業男性)

AED使うには

ガイド付き誰でも簡単

【回答】自動体外式除細動器(AED)は誰でも使えるように設定されていますが、使用経験がないと、そうした場面に出合ったときに、ちゅうちよするかもしれない。講習を受けてAEDに慣れておくことをお勧めします。

県内では日赤支部と消防局が、心肺蘇生法とAEDの講習会を開催しています。同県支部や最寄りの消

防局に問い合わせみてください。市町などが主催する健康フェスティバルでもAED講習が行われることがあるので、積極的に参加するといでしょう。

心筋梗塞などで倒れたとき、心臓は不規則にけいれんし、脳や全身に血液を送り出せなくなることがあります。この状態を心室細動と言い、長く続くと

死に至ります。AEDは心室細動に陥っている心臓に電気ショックを与え、正常な心臓の動きに戻ります。使用が1分遅れると、蘇生の可能性が10%低くなるといわれています。AEDが用意できるまで、また救急隊が到着するまで心

臓マッサージを行って、ポンプ機能を失った心臓の代わりに全身に血液を送る必要があります。方法は、胸の中央(胸骨)を1分間に100回以上のリズムで強く圧迫し続けます。現在の心肺蘇生法では、慣れない人は難しい人工呼吸は行わずに、初めから心臓マッサージだけを行うように変更されました。

操作自体は簡単です。電源を入れると音声ガイドが流れますので、それに沿って行います。

まず電極パッドを心臓を挟むように2か所に貼ります。するとAEDは自動的に心電図を解析し、必要があれば電気ショックを与えます。放電後、心臓が

正常な動きに戻ったかどうかを解析し、心室細動が続いていれば再び電気ショックを与えるようになっていきます。

AEDとともに大切なのは心臓マッサージです。AEDが用意できるまで、また救急隊が到着するまで心臓マッサージを行って、ポンプ機能を失った心臓の代わりに全身に血液を送る必要があります。方法は、胸の中央(胸骨)を1分間に100回以上のリズムで強く圧迫し続けます。現在の心肺蘇生法では、慣れない人は難しい人工呼吸は行わずに、初めから心臓マッサージだけを行うように変更されました。



質問をどうぞ

この欄では県医師会が医療制度全般の質問にお答えします。質問希望の方は知りたい内容を分かりやすくまとめ、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「医療制度Q&A」係までお送りください。不明な点をお聞きする場合がありますので住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記してください。なお、直接本人への回答はいたしません。